

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

|    |    |
|----|----|
| 別添 | なし |
|----|----|

|      |                      |      |        |         |
|------|----------------------|------|--------|---------|
| 応募概要 | 分野                   | 音楽   | 種目     | オーケストラ等 |
|      | 応募区分                 | 一般区分 |        |         |
|      | 複数応募の有無              | 無    | 応募総企画数 |         |
|      | 複数の企画が採択された場合の実施体制 ※ |      |        |         |

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

|                            |   |                                |   |              |
|----------------------------|---|--------------------------------|---|--------------|
| ふりがな                       | こうえきざいだんほうじん なごやふいるはーもにーこうきょうがくだん   |                                |   |              |
| 制作団体名                      | 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団  |                                |   |              |
| 代表者職・氏名                    | 理事長 犬塚 力  | 団体ウェブサイトURL                    |   |              |
|                            |   | https://www.nagoya-phil.or.jp/ |   |              |
| 制作団体所在地                    | 〒   | 460-0022                       | 最寄駅(バス停)  | 金山駅          |
|                            | 愛知県名古屋市中区金山1-4-10 名古屋市音楽プラザ4F   |                                |   |              |
| 制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック | <input checked="" type="checkbox"/>   | ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です   |   |              |
| ふりがな                       |   |                                |   |              |
| 公演団体名                      |   |                                |   |              |
| 代表者職・氏名                    |   | 団体ウェブサイトURL                    |   |              |
|                            |   |                                |   |              |
| 公演団体所在地                    | 〒   |                                | 最寄駅(バス停)  |              |
|                            |   |                                |   |              |
| 制作団体 設立年月                  | 昭和41年 7月  |                                |   |              |
| 制作団体組織                     | 役職員   |                                | 団体構成員及び加入条件等  |              |
|                            | 理事長 犬塚力、<br>副理事長 松雄俊憲、牧野利香、<br>専務理事 月東靖詞、<br>常務理事 長谷川いづみ、<br>ほか顧問4名、理事14名、監事2名、<br>評議員19名、諮問委員27名、参与15名 |                                | (1)団体構成員<br>指揮者5名、コンサートマスター5名、<br>コンポーザー・イン・レジデンス1名、楽員68名、<br>事務局員16名<br>(2)加入条件<br>楽員は一般公募オーディションにより採用 |              |
| 事務体制<br>事務(制作)専任担当の有無      | 他の業務と兼任の担当者を置く  |                                | 本事業担当者名   | 演奏事業部 友澤麻里奈  |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無          | 有   |                                | 経理担当者   | 演奏事業部課長 岩澤陽介 |
| 本応募にかかる連絡先                 | メールアドレス   |                                |   | 電話番号         |
|                            | tomozawam@nagoya-phil.or.jp   |                                |   | 0522128445   |

|         |                 |   |  |
|---------|-----------------|---|--|
| 制作団体の実績 | 制作団体沿革・主な受賞歴    | <p>【沿革】</p> <p>昭和41(1966)年 結成<br/>         昭和46(1971)年 音楽総監督に岩城宏之、常任指揮者に福村芳一就任<br/>         昭和48(1973)年 名古屋市の出捐により財団法人化<br/>         昭和49(1974)年 音楽総監督に森正、常任指揮者に荒谷俊治就任<br/>         昭和56(1981)年 音楽総監督兼常任指揮者に外山雄三就任<br/>         平成05(1993)年 常任指揮者に飯守泰次郎就任<br/>         平成10(1998)年 音楽総監督に小林研一郎就任、アジア8ヶ国ツアー実施<br/>         平成15(2003)年 常任指揮者に沼尻竜典就任<br/>         平成20(2008)年 常任指揮者にティエリー・フィッシャー就任<br/>         平成24(2012)年 愛知県より認定を受け公益財団法人化<br/>         平成25(2013)年 常任指揮者にマーティン・ブラビンズ就任<br/>         平成28(2016)年 音楽監督に小泉和裕就任、創立50周年記念事業実施<br/>         令和05(2023)年 音楽監督に川瀬賢太郎就任<br/>         令和08(2026)年 楽団創立60周年を迎える</p> <p>【主な受賞歴】</p> <p>平成02(1990)年 東海テレビ文化賞<br/>         平成03(1991)年 愛知県芸術文化選奨文化賞<br/>         平成09(1997)年 文化庁芸術作品賞レコード部門<br/>         令和02(2020)年 第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「現代音楽部門賞」</p>   |  |
|         | 学校等における公演実績     | <p>令和6年度(2024-25)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶愛知県内私立中学校全校生徒(約1,200人)を対象とした芸術鑑賞会／1公演</li> <li>▶豊田市内中学3年生(約4,000人)を対象としたコンサート／5公演</li> <li>▶三重県内私立高等学校全校生徒(約1,000人)を対象とした芸術鑑賞会／1公演</li> <li>▶名古屋市内小学校移動音楽鑑賞教室／5校6公演(体育館開催)</li> <li>▶豊橋市内私立高等学校全校生徒(約1,000人)を対象とした芸術鑑賞会／1公演</li> <li>▶名古屋市内私立小学校全校児童(約1,000人)を対象とした芸術鑑賞会／1公演</li> <li>▶東海市内小学5年生、中学2年生(約2,400人)を対象とした芸術鑑賞会／4公演</li> <li>▶出会いの教室(東海市内の小学4年生を対象としたアウトリーチ活動)／13校39回実施</li> <li>▶名フィル楽員がやってきた！(名古屋市内小・中学校に楽員を派遣するアウトリーチ活動)／1校</li> <li>▶豊田市アウトリーチ事業(豊田市内の小学校に楽員を派遣するアウトリーチ活動)／2校</li> </ul> <p>令和7年度(2025-26)※10/3時点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶愛知県内私立高等学校全校生徒(約1,800人)を対象とした芸術鑑賞会／1公演</li> <li>▶豊田市内中学3年生(約4,000人)を対象としたコンサート／5公演</li> <li>▶名古屋市内小学校移動音楽鑑賞教室／2校3公演(体育館開催)</li> <li>▶出会いの教室(東海市内の小学4年生を対象としたアウトリーチ活動)／13校38回実施</li> <li>▶豊田市アウトリーチ事業(豊田市内の小学校に楽員を派遣するアウトリーチ活動)／1校</li> </ul> |  |
|         | 特別支援学校等における公演実績 | <p>令和元年度(2019-20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)」において、三重県立盲学校にて公演／1公演</li> </ul> <p>令和3年度(2021-22)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)」において、山口県立田布施総合支援学校にて公演／2公演 ※WSのみ実施</li> <li>山口県立宇部総合支援学校にて公演／2公演</li> </ul> <p>※上記2校は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が困難であったため中止</p> <p>令和6年度(2024-25)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」において、岐阜県立岐阜聾学校にて公演／1公演</li> </ul> <p>平成11年度(1999-2000)より毎年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「夢いっぱいの特等席」福祉コンサートを実施</li> </ul> <p>※障がいのある方々を対象に、様々に会場の環境整備を行なった“特等席”コンサートで、これまでに愛知・岐阜県下で80公演を開催。各地域の障がいのある方々の施設・団体や、特別支援学校に通う方々から好評を得ている</p>  |  |

  

|      |                        |     |  |
|------|------------------------|-----|--|
| 参考資料 | 申請する演目のWEB公開資料         | 無   |  |
|      | ※公開資料有の場合URL           |     |  |
|      | ※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード | ID: |  |
|      |                        | PW: |  |

別添

あり

【公演団体名 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団 】

本公演・ワークショップの内容

|   |   |  |  |           |          |                 |  |      |   |   |
|---|---|--|--|-----------|----------|-----------------|--|------|---|---|
| 対象  | 小学生(低学年)  |  |  | ○         | 小学生(中学年) |                 |  | ○    |   |   |
|   | 小学生(高学年)  |  |  | ○         | 中学生      |                 |  | ○    |   |   |
| 企画名   | オーケストラと歌で巡る、音楽の世界   |  |  |           |          |                 |  |      |   |   |
| 企画のねらい  | これまでに実施した本事業や音楽鑑賞教室での経験を踏まえ、よりオーケストラに親しみがもてるように、音楽の授業で教わることの多い、教科書に載っているような楽曲を中心に構成しました。<br>一方で冒頭には名古屋をテーマにしたオリジナルの曲を取り入れ、どの地域の学校での公演であっても、名古屋という地域の特色をオーケストラを通じて感じてもらえるように仕上げています。<br>オーケストラの迫力ある演奏はもちろん、ソリスト・司会には男性オペラ歌手を起用することで、プロの歌手の歌声の迫力も間近で感じることができず。<br>オーケストラを鑑賞するだけでなく、合唱やボディ・パーカッション、吹奏楽などでの共演、指揮者体験コーナーといった参加型プログラムを取り入れることで、子供たちの関心を引く工夫をしています。<br>合唱共演の前にはプロの歌手が発声方法や歌い方の指導を行うことで、学校全体の合唱のレベルアップも目指します。<br>子供たちにとって身近な学校の体育館で歌とオーケストラによる豪華なステージが展開されますので、子供たちのみならず、先生や大人たちにも楽しんで貰いたいと考えています。  |  |  |           |          |                 |  |      |   |   |
| 演目概要・演目選択理由   | <div>・演目概要<br/>別添あり(別添1)</div> <div>・演目選択理由<br/>上記ねらいに基づいた演目に、“名古屋フィルハーモニー交響楽団(愛称:名(めい)フィル)でしか聴けない”、下記のようなエッセンスを加味しました。<br/>★《しゃちほこゴールデン・マーチ》は名フィルのコンポーザー・イン・レジデンスが作曲し、名古屋城のシンボルである「しゃちほこ」、そして名古屋の食には欠かせない「味噌」を用いた音形など、名古屋をテーマとした楽曲となっています。<br/>★《春夏秋冬》は名フィルが独自に作成したオリジナルの楽器紹介曲です。ナレーション付きで分かりやすく紹介します。<br/>★《浜辺の歌》は名フィルが独自に編曲した名フィル・オリジナルの楽譜を使用します。<br/>★ボディ・パーカッションは、名フィルが用意したオリジナルの振り付けを用います。<br/>★合唱曲は名フィルが独自に編曲した既存の楽曲に加え、学校からのリクエスト曲があれば、新たに編曲を行うことも可能です。<br/>★《カルメン》はオペラから抜粋した6曲にナレーションを加えた、名フィル・オリジナルの構成で演奏します。<br/>★《校歌》は新たに編曲したものをリハーサルで録音し、公演後も学校で歌えるようカラオケCDを贈呈します。</div> |  |  |           |          |                 |  |      |   |   |
| 児童・生徒の参加または体験の形態  | <div>★児童・生徒全員を対象とした共演・体験<br/>《合唱曲》と《各校校歌》の合唱共演、《天国と地獄》でのボディ・パーカッション、《Do Re Mi Fa Sol La Si Do !》の参加は、児童・生徒全員を対象に実施します。オーケストラの伴奏で歌ったり、身体を動かしたりする経験や思い出は、一生のものとなるはずで<br/>す。<br/>★特定の児童・生徒による共演・体験<br/>《カルメン》での指揮者体験は、3名程の児童・生徒にオーケストラを実際に指揮していただきます。客席から見ていただけでは分<br/>からない、指揮台に上がって見る景色や気持ちは、特別な体験となるでしょう。<br/>中学生対象の吹奏楽部との共演では、学校の実情に合わせて曲目を選定、必要に応じて編曲を行い共演を実施します。</div>  |  |  |           |          |                 |  |      |   |   |
| 児童・生徒の参加可能人数  | 本公演   |  |  | 参加・体験人数目安 |          | 会場収容人数内であれば制限なし |  |      |   |   |
|   |   |  |  | 鑑賞人数目安    |          | 会場収容人数内であれば制限なし |  |      |   |   |
| 本公演演目   | 別添あり(別添2)   |  |  |           |          |                 |  |      |   |   |
| 原作/作曲<br>脚本<br>演出/振付  | 公演時間  |  |  | 90        | 分        |                 |  |      |   |   |
| 出演者   | 指揮:川瀬賢太郎(名フィル音楽監督)、辻博之 ほか<br>歌・司会・ナレーション:大川博,高橋洋介(バリトン) ほか<br>※指揮者・ソリストは上記のうち1名が出演<br>管弦楽:名古屋フィルハーモニー交響楽団(2管12型)<br>別添メンバー表あり(別添3)  |  |  |           |          |                 |  |      |   |   |
| 演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名 | <div>・川瀬賢太郎(指揮)<br/>名古屋フィルハーモニー交響楽団第6代音楽監督。東京音楽大学を卒業し、これまでに指揮を広上淳一などの各氏に師事。オー<br/>ケストラ・アンサンブル金沢パーマネント・コンダクター、札幌交響楽団正指揮者、三重県いなべ市親善大使を務める。<br/>・辻博之(指揮)<br/>東京藝術大学声楽科卒業後、2017年にオーケストラ・アンサンブル金沢定期演奏会で指揮者デビュー。以降、九響、読響、兵庫芸<br/>文、大フィル、東フィル、札幌響、新日本フィル、京響、名フィル、中部フィル、THE ORCHESTRA JAPANなどと共演。</div>   |  |  |           |          |                 |  |      |   |   |
| 本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む                         | 出演者:  |  |  | 68        | 名        | 運搬              |  | 積載量: | 4 | t |
|   | スタッフ:   |  |  | 7         | 名        |                 |  | 車 長: | 8 | m |
|   | 合 計:  |  |  | 75        | 名        |                 |  | 台 数: | 1 | 台 |

|  |                        |            |      |                     |          |             |        |
|--|------------------------|------------|------|---------------------|----------|-------------|--------|
| <b>本公演<br/>会場設営の所要<br/>時間<br/>(タイムスケジュー<br/>ル)の目安</b>  | 前日仕込                   |            | 無    | 前日仕込所要時間            |          |             | 時間程度   |
|  | 到着                     | 仕込         |      | 上演                  | 内休憩      | 撤去          | 退出     |
|  | 8:30                   | 8:30～11:00 |      | 13:30～15:00         | 10分      | 15:00～16:30 | 16時30分 |
|  | ※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。 |            |      |                     |          |             |        |
| <b>本公演<br/>実施可能日数<br/>目安</b><br><br>※実施可能時期につ<br>いては、採択決定後<br>に再度確認します(大<br>幅な変更は認められ<br>ません)。                   | 6月                     |            | 7月   |                     | 8月       |             | 9月     |
|  | 7日                     |            | 0日   |                     | 0日       |             | 6日     |
|  | 10月                    |            | 11月  |                     | 12月      |             | 1月     |
|  | 10日                    |            | 0日   |                     | 0日       |             | 0日     |
|  | ※平日の実施可能日数目安をご記載ください。  |            |      |                     | 計        |             | 23日    |
| <b>公演に係るビジュ<br/>アルイメージ<br/>(舞台の規模や演出<br/>がわかる写真)</b><br><br>※会場条件につ<br>いて最低限必要<br>な条件がある場<br>合には、様式<br>No.4内「会場簡 | (図1) 公演舞台配置図<br>       |            |      |                     |          |             |        |
|  |                        |            |      |                     |          |             |        |
|  |                        |            |      |                     |          |             |        |
|  | (図2) 実際の公演の様子          |            |      | (図3) ボディ・パーカッションの様子 |          |             |        |
|  | (図4) 指揮者体験の様子          |            |      | (図5) 吹奏楽共演の様子       |          |             |        |
| <b>著作権、上演権等<br/>の許諾状況</b>  | 各種上演権、使用权等の許諾手続の要否     |            | 該当なし |                     | 該当コンテンツ名 |             |        |
|  | 該当事項がある場合              | 権利者名       |      |                     | 許諾確認状況   |             |        |

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。



別添

なし

【公演団体名 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団】

ワークショップの内容

## ワークショップのねらい

一度しかない本公演において、公演内容や児童・生徒との共演をより効果的なものにするため、プロの演奏家が実演を含めて指導を行います。机上や映像では学べない充実した内容で、より本公演への期待を高めます。

本公演前の事前ワークショップは学校とオーケストラを結ぶ最初の接点であり、内容については下記3点を重視し、指導者にも徹底しています。

1. 児童・生徒が音楽に興味を抱き、本公演への期待を高める内容であること
2. 児童・生徒参加型企画の音楽的完成度を高められる内容であること
3. オーケストラとの共演という貴重な機会を活かし、児童・生徒自身が自発的にコンサートに参加したくなる環境づくりができること

## 児童・生徒の参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

会場収容人数内であれば制限なし

## ワークショップ実施形態及び内容

標準:90分(45分×2公演)

1. 主指導者と補助者によるミニ・コンサート  
楽員を中心とした弦・管・打楽器奏者、歌手、指揮者、ピアニスト等を派遣。  
楽器の音色やオペラ歌手の歌声を生で体感してもらい、コンサートへの興味喚起を促します。
2. 楽器構成や歴史、本公演の演奏曲目紹介などを含めたオーケストラ講座  
オーケストラの歴史と楽器構成、本公演のプログラムを、イラストを用いたオリジナル資料や演奏音源、実演をもとに、分かりやすく解説。演奏会に出かけたことのない子供たちにも、クラシックは決して敷居の高いものではなく、リラックスして楽しめるものだということを説明します。
3. 歌唱指導(合唱共演)  
本公演で共演する合唱曲について、発声練習やオーケストラと一緒に歌う際のポイントを指導します。
- 4a. <小学生対象> 共演曲指導(ボディ・パーカッション共演)  
《天国と地獄》のボディ・パーカッション指導では、実演に合わせて叩き方のポイントを説明します。
- 4b. <中学生対象(選択)> 共演曲指導(楽器・声の共演)※全校生徒対象  
《Do Re Mi Fa Sol La Si Do!》はハンドサインを用いた歌唱、もしくはリコーダー等の任意の楽器での参加となります。音楽に合わせた演奏方法を指導します。
- 4c. <中学生対象(選択)> 共演曲指導(吹奏楽部との共演)※吹奏楽部対象  
プロの演奏者から、オーケストラと合奏する際の心構えをはじめ、普段の部活では体験できない、より一歩踏み込んだ音楽的な指導を実施します。
6. 質問コーナー  
音楽に対する姿勢や楽器ごとの苦労話など、なかなか聞くことのできない質問を、プロの演奏家が直接受け付けます。

## その他ワークショップに関する特記事項等

★ボディ・パーカッション等の楽譜や資料は、ワークショップの約1ヶ月前までに学校へ送りますので、可能な範囲で事前の練習をお願いします。  
なお、ワークショップまでに必ず習得する必要はありません。

★児童・生徒の並び方は学校の要望に応じます。



(図6) ワークショップの様子

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通  
No.4(共通)

|    |    |
|----|----|
| 別添 | なし |
|----|----|

【公演団体名 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

|                 |                            |         |                       |             |       |     |       |  |  |  |
|-----------------|----------------------------|---------|-----------------------|-------------|-------|-----|-------|--|--|--|
| (必須)            | 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。 |         |                       |             |       |     |       |  |  |  |
| 会場の設置階の制限       |                            | 2F以上応相談 |                       | 主幹引き込み電源容量  |       |     | 0 A以上 |  |  |  |
| 舞台設置面積          | 間口                         | 18 m    |                       | 奥行          | 10 m  |     |       |  |  |  |
|                 | 高さ                         | 制限なし    |                       | m           |       |     |       |  |  |  |
| 舞台設置場所          | フロア対応                      | 可       |                       | 学校のステージでの対応 |       |     | 不可    |  |  |  |
| 搬入間口の広さ         | 幅                          | 1.5 m   |                       | 高さ          | 1.8 m |     |       |  |  |  |
| 遮光の要否           | 不要                         |         | 緞帳の要否                 |             |       | 不要  |       |  |  |  |
| ピアノの使用について      | 使用しない                      |         | ピアノを使用する場合の設置位置の指定    |             |       |     |       |  |  |  |
|                 |                            |         | ピアノを使用しない場合の移動の要否     |             |       | 要   |       |  |  |  |
| 搬入車両(トラック等)の横づけ | 必須                         |         | トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離 |             |       | 応相談 | m以内   |  |  |  |
| 搬入車両の種類         | 大型トラック                     |         | 台数                    | 1 台         |       |     |       |  |  |  |
| 搬入車両の大きさ        | 車幅                         | 2.49 m  |                       | 車長          | 8.7 m |     |       |  |  |  |
| 備考              |                            |         |                       |             |       |     |       |  |  |  |

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

|                                   |                                  |  |
|-----------------------------------|----------------------------------|--|
| (任意)                              | 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。    |  |
| 会場図面の提出要否                         | 要                                |  |
| その他提出が必要な資料<br>(搬入間口や搬入経路の写真の提出等) | トラックの横づけが不可の場合、搬入経路図や写真等をご提出ください |  |

時間外対応

|  |   |         |           |   |   |
|--|---|---------|-----------|---|---|
| (任意)   | 万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。 |         |           |   |   |
| なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。                 |   |         |           |   |   |
| ※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。 |   |         |           |   |   |
|  | 対象  | 所要時間(分) | 時間帯       | 内容  | 備考  |
| ワークショップ  | 鑑賞対象となる児童・生徒全員  | 45分     | 音楽の授業等    | ・歌の練習(合唱曲)<br>・ボディ・パーカッションの練習(天国と地獄)<br>※小学生対象<br>・共演曲の練習(DoReMiFaSolLaSiDo!)<br>※中学生対象(選択) | ・合唱共演は学校の希望を伺います。<br>・ボディ・パーカッションは楽譜及び参考動画を送りますので、配布のうえ事前練習をお願いします。 |
| ワークショップ  | 共演、参加又は体験対象となる児童・生徒   | 60分     | 部活動実施時    | 吹奏楽部共演の練習(希望曲)<br>※中学生対象(選択)  | 共演曲は学校の希望を伺います。オーケストラ編曲を行いますので、楽譜の提供をお願いします。                        |
| 本公演  | 共演、参加又は体験対象となる児童・生徒   | 15分     | 本公演の約90分前 | 吹奏楽共演のリハーサル<br>※中学生対象(選択)   | 共演を行う生徒は基本的に全員参加となります。時間は学校と相談のうえ決定します。                             |
| 本公演  |   |         |           |   |   |

個別確認事項

|      |   |  |
|------|---|--|
| (任意) | 上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。                               |  |
|      | 個別ヒアリング事項   |  |
| 1    | 控室の用意(4部屋程度) ※カーテンがあることが望ましい。<br>・1名利用個室(指揮者・ソリスト)2部屋    ・20〜30名利用大部屋(男女楽団員)2部屋 |  |
| 2    | 演奏者は大型バス3台で訪問予定。(回答不要)  |  |
| 3    | 道路状況により4tトラックの進入ができない場合のみ、4tトラックを2tトラック2台に変更可能。(回答不要)                           |  |

|  |      |                                       |  |
|--|------|---------------------------------------|--|
|  | (任意) | 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。  |  |
|  |      | ※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。 |  |

会場簡易図面

体育館  
舞台

舞台袖

体育館の舞台

設置舞台

約8.5m

約2m

舞台袖

設置舞台

約18m

約7m

1.5m

鑑賞位置

体育館  
フロア

フロア使用时

間口

後方

トラック

前方



別添

なし

【公演団体名 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

## 【本事業を通じて実現したいこと】

交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り、文化の発展に寄与することを目的とする。前条の目的を達成するため、青少年の音楽鑑賞の指導及び普及事業を行う。  
(名古屋フィルハーモニー交響楽団 定款 第2章第3,4条より)

上記の通り、青少年への音楽鑑賞事業は名古屋フィルハーモニー交響楽団の存在意義でもあります。オーケストラによる上質な音楽を、多感な青少年の時期に提供することにより、その後の人生が豊かなものになることを願うとともに、未来を担う子供たちには社会におけるオーケストラの必要性を理解し、未永く愛してもらいたいと考えています。

平成25年度からの本事業では、10年連続で100校以上を巡回しています。学校の先生方からは「また聴きたいという児童・生徒が多かった」、「公演後は音楽の授業に対する姿勢が変わった」、「音楽に関する話題が増えた」、など多くの嬉しい声が届いているほか、間近で体感するオーケストラの音圧・迫力に感動し、目を輝かせる子供の姿も見受けられました。普段オーケストラに気軽に接することができない子供たちに、その子供たちのホームグラウンドである学校・体育館で、生の管弦楽を聴かせることができる機会に、大きな意義を感じています。

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

今回提案しているプログラムは、これまでの公演で好評だった共演・参加型のプログラムに、過去の実施校からの意見や、演奏者の意見を取り入れ、選考を重ねたものです。「特定の学年との器楽合奏ではなく、やはり全員で、慣れ親しんだ歌でオーケストラと共演したい」との要望を受け、合唱曲は楽団からの提案に加え、学校からのリクエストにも応じます。また、プログラム後半には《カルメン》を抜粋し、ナレーションを加えて演奏します。過去の実績からナレーション付きの楽曲は、小・中学校ともに理解しやすいと高い評価を得ており、オペラは長くて難しいという概念を覆す一歩として、より興味を惹くよう歌唱を加え一部参加型にし、子供を飽きさせない工夫を施します。いずれも本事業の概要にある「芸術性に富むもの」「児童・生徒が興味をもって鑑賞できるもの」「教育的効果が高いもの」、このすべてを満たすことのできるプログラムであると、自信を持っています。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

## 【学校との連絡調整について】

オーケストラの公演に慣れていない学校の体育館で行なわれるコンサートであり、受け入れ側の担当教員も実施に際し不安を感じる点が多々あると考えられます。それらを解消すべく、下記事項を実施します。

## ★学校との密接なコミュニケーションの重視

1. 受け入れ決定から本公演実施まで、スケジュール概要を作成
2. 概要をもとに、いつ、何が必要かを各学校に説明
3. 概要には担当スタッフの連絡先、特にメールアドレスや携帯番号も記載
4. 質問への的確・迅速な回答を意識し「要望が言いやすい環境づくり」を実施

現在も上記4事項を重点的に実施していますが、会場に関する質問(体育館ではなく別の会場で実施したい等)や、公演に関する質問(共演時に学校所有の平台を使用したい等)など、担当教員からの連絡が増えていると感じており、「要望が言いやすい環境づくり」が功を奏していると認識しています。

## 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

大人数のオーケストラが訪問することに不安を感じる児童・生徒も多くいると考えられます。本公演で訪問する前に学校と連携し、特別な対応が必要であるかをワークショップの機会を活用して確認、公演当日は下記事例のようにすべての方が安心して鑑賞することができる環境を整えて実施します。

・聴覚、嗅覚過敏がいる場合は事前に場所を把握し、一定の距離を保つ

・耳が不自由な子供がいる場合は、歌に手話をつけるほか、司会原稿を印刷、投影する

また、指揮者体験等の特定の児童・生徒を選出する場合は、学校で選出するか当日選出するかを事前に学校に選んでもらい、トラブルを防ぎます。

## 【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

ワークショップ前に配布するイラスト入りの楽器紹介プリントや、本公演のプログラムには、楽器の解説や楽曲についての解説を記載しています。ワークショップや本公演で取り上げる楽曲は今後も街の中で耳にする機会の多いものであり、本事業で、学校の体育館でオーケストラの生演奏を聴いたことを思い出してもらおうとともに、今後の子供たちの人生においてオーケストラが身近になり、またコンサートホールに継続的に足を運んで欲しいと考えています。

| リンク先        | No.2  | 【公演団体名 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団】 |
|-------------|---|--------------------------------|
| <p>演目概要</p> | <p>・演目概要</p> <p>1. 小出稚子(名フィル コンポーザー・イン・レジデンス):しゃちほこゴールデンマーチ<br/>名古屋城のシンボルである「しゃちほこ」、そして名古屋の食には欠かせない「味噌(ミソの音)」など、名古屋をテーマにした心躍るような軽快なマーチでコンサートの幕開け！児童・生徒の皆さんをオーケストラの世界へ一気に惹きつけます。</p> <p>2. カジノユキ[編]:オーケストラで聴く日本の名曲『春夏秋冬』<br/>オーケストラを構成する各楽器を、日本の四季を代表する名曲「早春賦」、「われは海の子」、「紅葉」、「雪」のメロディに乗せて、メドレー形式でご紹介します。ナレーションも合わせて、目と耳の両方でお楽しみください。</p> <p>3. 成田為三:浜辺の歌<br/>林古溪が作詞した作曲用の歌詞に成田為三が曲をつけたこの曲は、1916年に作曲されて以来、日本中で親しまれている愛唱歌です。日本人の心に染み入るような旋律を、バリトンの独唱でお楽しみください。</p> <p>4. 合唱共演(選択制)<br/>どの学校でも音楽の授業をはじめ様々なシーンで合唱曲が歌われています。そんな愛唱されている合唱曲を、ピアノ伴奏ではなく、豪華オーケストラ伴奏と一緒に歌いましょう。プロの歌手と一緒に歌うことで、学校全体の合唱のレベルアップが期待できます。</p> <p>5. オッフェンバック:喜歌劇『天国と地獄』より「カンカン」(小学生対象/ボディ・パーカッション共演)<br/>子供たちの身体そのものを楽器としたボディ・パーカッションを実施します。オペレッタの中でも出てくる「カンカン踊り」をモチーフにした名フィル・オリジナルの振り付けで、オーケストラとの共演が実現します！</p> <p>5a. 吹奏楽曲(中学生対象選択/吹奏楽部との共演)<br/>吹奏楽部で普段から管・打楽器を演奏している生徒にとって、この体育館での演奏会はまた特別な時間となるでしょう。プロの奏者たちと並んで、オーケストラの名曲や、普段練習している吹奏楽曲と一緒に演奏できるチャンスです！</p> <p>5b. 芥川也寸志:Do Re Mi Fa Sol La Si Do ! (中学生対象選択/楽器・声との共演)<br/>音楽の共通語でもある音階“ドレミファソラシド”をモチーフに、さまざまに音楽が展開されていく楽しい1曲。リコーダーなど任意の楽器やハンドサイン付きの声でオーケストラの演奏に参加していただきます。</p> <p>6. 外山雄三:管弦楽のためのラプソディより「八木節」<br/>かつて名古屋フィルの音楽監督を務めた外山雄三さんが作曲したこの作品では、日本伝統の民謡が次々に登場します。今回はもっとも心揺さぶられる「八木節」を抜粋してお届けします。</p> <p>7. モーツァルト:歌劇『魔笛』より「おいらは鳥刺し」<br/>モーツァルト晩年の最高傑作として今もお愛され続けています。「おいらは鳥刺し」は親しみやすいメロディにのせてパパゲーノが笛を吹きながら鳥刺しの気ままな生活を歌います。</p> <p>8. ビゼー: 歌劇『カルメン』より「闘牛士(第1幕前奏曲)」<br/>ビゼーが作曲したこの作品は数あるオペラの中でも、特に有名で世界中から親しまれています。華々しく勇壮に始まる闘牛士の部分で、皆さんにオーケストラの指揮者を体験していただき、のちに続くプログラムへの期待感を高めてもらいます。</p> <p>9. ビゼー: 歌劇『カルメン』より「闘牛士(第1幕前奏曲)」「衛兵の交代」、「ハバネラ」、「アラゴネーズ」、「闘牛士の歌」、「ロマの踊り」<br/>全4幕からなるオペラの楽曲を抜粋して、ナレーションとバリトン歌唱を加えた特別版でお贈りします。どこかで聴いたことある旋律や、バリトン歌手による勇ましい歌声を目と耳でご堪能ください。</p> <p>10. 三村総撤ほか[編]:各校校歌<br/>アンコールは学校に通う児童・生徒なら誰もが知っている校歌を、ゴージャスな管弦楽伴奏版で演奏します。前奏を聴いて「おおっ」となることは間違い無し！</p> |                                |

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

| リンク先  | No.2  | 【公演団体名 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団】 |
|-------|---|--------------------------------|
| 本公演演目 | <p>【コンサートの幕開け！】</p> <p>1.小出稚子(名フィル コンポーザー・イン・レジデンス):しゃちほこゴールドデンマーチ</p> <p>【みんな知ってた？オーケストラを徹底解剖】(楽器紹介コーナー)</p> <p>2.カジノユキ[編]:オーケストラで聴く日本の名曲『春夏秋冬』 ※ナレーションあり</p> <p>【バリトンの歌声で聴く日本の唱歌】</p> <p>3.成田為三:浜辺の歌 ※歌唱あり</p> <p>【オーケストラと共演しよう！】(共演コーナー)</p> <p>～小学生対象～</p> <p>4. [合唱共演]※①～④から選択<br/> ①Believe ②翼をください ③気球にのってどこまでも ④学校の希望曲</p> <p>5. [ボディ・パーカッション共演]<br/> オッフエンバック:喜歌劇『天国と地獄』より「カンカン」</p> <p>～中学生対象～ ※5はa,bから選択</p> <p>4. [合唱共演]※①～④から選択<br/> ①Believe ②翼をください ③COSMOS ④学校の希望曲</p> <p>5a. [吹奏楽部との共演]<br/> ※共演曲の曲目は、学校のリクエストに応じて決定<br/> 例)エルガー/威風堂々などクラシックの名曲のほか、吹奏楽曲での共演も可能</p> <p>5b. [楽器・声との共演]<br/> 芥川也寸志:Do Re Mi Fa Sol La Si Do !</p> <p>【日本の伝統音楽の響き】</p> <p>6. 外山雄三:管弦楽のためのラプソディより「八木節」</p> <p>《休憩(10分)》</p> <p>【歌と楽器力を合わせて】</p> <p>7. モーツァルト:歌劇『魔笛』より「おいらは鳥刺し」 ※歌唱あり</p> <p>【マエストロは君だ！指揮者体験コーナー】(指揮者体験コーナー)</p> <p>8. ビゼー:歌劇『カルメン』より「闘牛士(第1幕前奏曲)」</p> <p>【音楽で楽しむオペラの魅力】</p> <p>9. ビゼー:歌劇『カルメン』より「闘牛士(第1幕前奏曲)」、「衛兵の交代」、「ハバネラ」、「アラゴネーズ」、「闘牛士の歌」、「ロマの踊り」 ※「闘牛士の歌」は歌唱あり</p> <p>【名フィル流サプライズ・アンコール！】</p> <p>10. 三村総撤ほか[編]:各学校校歌</p> |                                |

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

| リンク先 | No.2   | 【公演団体名 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団】  |
|------|--|---|
| 出演者  | メンバー表  |   |
|      | <div><div></div><div>公益財団法人<br/>名古屋フィルハーモニー交響楽団</div></div> <div>音楽監督 川瀬賢太郎</div> |   |
|      | 音楽監督<br>川瀬 賢太郎   | アシスタント・コンサートマスター<br>矢口 十時子  |
|      | 名誉音楽監督<br>小泉 和裕  | ヴァイオリン<br>瀬木 理央 ◎(2ndヴァイオリン)<br>川上 裕司 ○(2ndヴァイオリン)                                  |
|      | 桂冠指揮者<br>小林研一郎   | フルート<br>大久保 成美 ◎<br>富久田 治彦  |
|      | 名誉指揮者<br>モーシェ・アツモン   | オーボエ<br>上品 綾香 ◎<br>寺島 陽介  |
|      | 名誉客演指揮者<br>ティエリー・フィッシャー  | イングリッシュ・ホルン<br>竹生 桃   |
|      | コンポーザー・イン・レジデンス<br>小田 稚子   | クラリネット<br>ロバート・ボルショス ◎<br>浅井 崇子   |
|      | コンサートマスター<br>小川 響子<br>森岡 聡<br>後藤 龍伸 (療養中)  | ファゴット<br>ゲオルギ・シャシコフ ◎<br>田作 幸介 ◎<br>三好 彩  |
|      | 首席客演コンサートマスター<br>荒井 英治   | ホルン<br>安土 真弓 ◎<br>猪俣 和也<br>小坂 智美<br>津守 隆宏   |
|      | 特別客演コンサートマスター<br>山本 友重   | トランペット<br>井葉野 晃暢 ◎<br>宮本 弦 ◎<br>坂本 教<br>松田 優太                                       |
|      |  | ヴァイオリン<br>石橋 直子 ◎<br>今村 聡子 ○<br>池村 明子<br>小泉 理子<br>小林 伊津子<br>紫藤 祥子<br>寺尾 洋子<br>吉田 浩司 |
|      |  | チェロ<br>アイリス・レグザ ◎<br>佐藤 有沙 ○<br>新井 康衛<br>太田 一也<br>小笠原 恭史<br>加藤 泰徳<br>幸田 有哉<br>酒泉 啓  |
|      |  | コントラバス<br>佐渡谷 綾子 ◎<br>北島 明翔 ○<br>井上 裕介<br>上岡 翔<br>坂田 晃一<br>永井 桜                     |
|      |  | トロンボーン<br>田中 宏史 ◎<br>香川 慎二  |
|      |  | バス・トロンボーン<br>菅原 薫   |
|      |  | チューバ<br>林 裕人  |
|      |  | 打楽器<br>窪田 健志 ◎<br>ジョエル・ビードリッツキー ◎<br>菅生 知巳  |
|      |  | ◎首席<br>○次席  |
|      |  | 2025年10月1日 現在   |